

卒業生の皆さん

おめでとう御座います

館長 橋本 昭二

ご両親や良き先生の暖かい御指導の元で、すくすくと成長され、無限の可能性を秘め、これからの人生を立派に生きて行かれ、私が何も言うことはありません。そこで、最近読んで感銘したことを紹介してみましよう。

生きるということとは「感動する」となのだ。感動は、その本質として「創造」につながってゆくし、「創造」の無い人生は無に等しい。ニートンは、リングが木から落ちるのを見て、心を動かされた。「なぜ？」その感動が、驚きが、引力の法則のひきがねとなった。それまで無数の人間が、リングの木の落ちるのを無為に眺めていたに違いない。

バラの木に バラの花咲く
なにごとの 不思議なけれど
御存知の白秋の詩ですが「なにごとの不思議なけれど」という述懐が逆に、白秋の驚きの大きさを、あらわしている。

バラの木にバラの花が咲くのは当りまえかもしれないけれど、何と云っても、不思議だ々々々々……不思議だ。此の心の高鳴りが、かくすぐれた詩をつくらせているのだ。

学問にしる芸術にしる、否、より日常的な場面においてすら、感動の無いところに創造的な何かは、決して生まれることはない。と云った様な文章でした。

皆さんも、常に感動することによりみずからを、ふるいたたせて突進して下さい。



下市 熊谷 真智枝

安来節の歌詞に、

「恩を忘るな育ての親の 手許はなるる巢立ち鳥」というのがあります。

中学生の皆さんは、高校進学にせよ、

就職にせよ、ほとんどの方が親もとを離れていかれると思います。

これからは、せまい大代だけでなく広い社会でいろいろんな人々との出逢いがあることでしよう。そして、喜び悲しみ、時には傷つき、だんだんと成長していかれるわけですが、どうか人生に後ろすがたをみせず、常に前向きで強く強く生きてください。

最後に私の好きな安来節の歌詞

「七転八起ナナコロビヨキ 世間に何くよくよと

どうか、ふるさと大代を忘れずに元気で頑張ってください。

優しい故里の人々や山河は、皆さんのお帰りを何時でもお迎えします。

巣立ち行く皆さん

—昭和五十八年度卒業生—

自治会 氏名

1. 特技・趣味

2. 将来の進路

3. 今一番思っている事

大代に望みたい事

平 井 谷 健

1. スポーツを見るのが好き(プロ野球など)。

2. 何か大きなことをやりたい。

3. 今のままの大代であってほしい。

四日市 竹 本 謙 二

1. 僕は、耳を動かすことができます。

2. 教育の指導者になりたい。

3. 交通の便を良くしてほしい。

平 原 田 隆 幸

1. 模型を作るのが好き。

2. 立派な大工さんになりたい。

3. 今のままの大代であってほしい。

四日市 市 妙 美 佐 子

1. 音楽鑑賞。

2. 事務関係の職につきたい。

3. 頑張って合格したい。

本郷 大 葉 明 美

1. 音楽鑑賞。

2. かわると思うけど今は美容師になりたい。

3. 高校へ行きたい。

弓 久 笠 岡 ともみ

1. 音楽鑑賞。

2. 動物の世話をする職につきたい。

3. とにかく頑張って高校へ入りたい。

1. 音楽鑑賞。

2. 事務関係につきたい。

3. 高校に入りたい。

本郷 窪 田 久 美

1. レコード鑑賞。

2. できたら事務係の職につきたい。

3. 今の気持で合格したい。

平 高 村 珠 美

1. 本を読むこと。

2. 事務関係の方の仕事がしたいです。

3. なにごともし生けんめいやりたい。

下飯谷 森 本 直 美

1. 音楽鑑賞。

2. 動物の飼育などをやりたい。

3. 合格したい。

川 上 渡 井 千 春

1. 消しゴムやノートなどのコレクション。

2. 看護婦になりたい。

3. 何事も、責任を持って行動したい。

川 上 渡 井 哲 子

1. 音楽鑑賞。

2. 事務関係の仕事につきたいです。

3. 人に迷惑をかけないようにしたい。

|| P.T.A 合同

研修会 ||



下市 今 田 文 子

「心身共に健全な子どもを育成するには親はどうすればよいか」という大会主題のもとに二分科会に分かれ討議され全体会で発表されました。

沢山勉強致しましたが私の心に残っているのに「見える学力は学校で、見えない学力は家庭で」と言うことを聞きました。

読書や勉強は習慣づけなくてはいいない。その為には、そう言う雰囲気や家庭で作ってやること

◇又、子供は遊びも大切であり成長の糧であること。

◇家庭環境をきれいにすれば子供も片づけが出来るようになること。

◇小学生の時はまず人の話を、目を見て真剣に聞くことから勉強も出来るようになること。

◇中学生になったら勉強にも部活にも集中出来、いざと言う時にはやれる子供でないといけない。

◇親は子供をきびしく見るようにする。温室育ちだと抵抗力がなく色々なことに耐えて生きてゆけない。等、大変勉強になりました。

午後はNHKの渡辺誠弥アサウンサーの講演を聞き更に勉強、有意義に終ったことを感謝致しております。

暮らしの中の

「馴れ」を



大代公民館

日常、如何に恵まれた生活環境の中に有っても長く住みついている間に、それを感じなくなり、当り前に思えて来る。それは「生活に馴れる」と言う事である。

そこで今一度自分の足もとを振り返って見たい。

どこにでも存在する様な、ごく当り前の事でも、見る眼を変えてみると、又異なった事柄に気が付く。

同じものでも、感動的にとる事によって物事は美しく又立派に見える。感動する事によって見る眼も亦変って来る。そして周囲をも変えてゆく。人生

は感動なくしては進歩も向上もない。我が家の子供達についても同じことが言えるのではないだろうか。

子供達の悪い面、いやな事ばかり見えて、ほんとうに良い所が有っても気付かないまま見過ごしているのではないだろうか。

先日大代町での家庭教育講演会、NHK渡辺誠弥先生（630解説者）のお話でした。

よい所を見つけ出してやる、その工夫を考える。これはよい子を育てる大切な条件であります。

—親子のふれ合い—それは言葉かけから始まります。言葉を大切に、言葉を止めないで……。

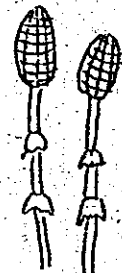
絶えず探索する目、追求する心、感動する心を持ちたいものです。

「暮らしの中の馴れ」、私達はわが郷土の良い所さえも見失い勝ちではないでしょうか。

4月 少年健全育成指標

よその子にも優しさと厳しさを

短歌



花田幹子

還暦を過ぎたる髪は ありていに
日々さまざまも 直く生きたし

横手 いちえ

うず高く 積りし雪の 座に立ちて

常に屈かぬ 枝剪定す

大葉 イツ子

陽春の 雪間を水の ゆく音が

小笹の下に 野鳥たわむれ

市原 梓

月光の 彼方にぞ住む 亡き夫の

とうとき魂よ 何処にぞ在る

渡 綾子

裏山に 鋭き雉の たゞ一声

松上うすく 春の雪おく

おしらせ

卒業のシーズンを迎えました。

来る3月13日（火）10時から公民館

に於て、卒業生の激励会が開催されます。関係者の皆さん是非ご協力下さい。